

横手市・山下太郎顕彰育英会

2個人、2団体に奨励賞



2個人、2団体に賞状などを贈った授与式

横手市大森町の一般財団法人・山下太郎顕彰育英会（山下和男理事長）の第32回学術研究奨励賞と、第30回地域文化奨励賞の授与式が4日、同所の山下記念館で行われた。学術研究奨励賞（副賞10

0万円）は、化合物を効果的に内部に取り込む性質が特徴の結晶を開発した秋田大学大学院工学研究科の講師山田孝さん（38）＝秋田市出身＝と、神経活動による動物の行動制御メカニズムを明らかにする

ための光学的な手法を確立した山梨大学院総合研究部医学域の助教高橋光規さん（35）＝大仙市出身＝が受賞した。地域文化奨励賞（副賞30万円）には、県内各地の民俗芸能や民俗に関わる文書の収集・調査を行う「あきた民俗懇話会」（齊藤壽胤代表）、由利本荘市とにかほ市で地域史を構成する伝承など多方面にわたる調査研究を行う「本荘由利地域史研究会」（佐藤俊介代表）が受けた。山下理事長はあいさつで、「研究や活動の場で仲間や後輩、地域の先頭に立ってリーダーシップを発揮し、一層活躍することを期待する」と述べた。

顕彰育英会は、横手市大森町出身の実業家で海外油田開発の先駆者、山下太郎（1889～1967年）の遺志を

継いだ文字夫人（故人）が提供した10億円で1989年に設立された。（伊藤寛明）